



# 若竹だよい



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう  
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

## 【巻頭言】

### 遊びの効用

園長 宮竹 恒

三寒四温と申しますが、学園では寒い日は、外の水道につららが出来、温かい日は子どもたちが半袖で遊ぼうとする姿が見られます。

まだまだ寒い日もありますが、春の訪れが次第に近づいているのを感じます。

現在、学園では28名の子どもたちが一緒に生活しています。中学3年生も多く、春は別れの季節となります。子どもたちの様子を見てみると、今のうちに「一緒に遊びたい」という気持ちを感じることもあります。

子どもたちの遊びを見てみると、改めて考えさせられることがあります。子どもたちは、よく園庭でサッカーをしています。人数がある程度ないと出来ません。鬼ごっこやかくれんぼも人数が少ないと面白くありません。遊びたいことが違うと場所の使い方をお互いに考えることもあります。

小学生は、よく自分達で遊びを創作しています。秘密基地を作ろうとしたり、段ボール工作で一緒に遊んでいます。たまにいたずらが過ぎることもありますが、子どもは小さな発明家だと思っています。

当たり前ようですが、友達がいるから出来ること、お互いに話し合うことで出来ることがあります。また、ルールを守らないと遊びが成立しなくなります。

28人の仲間と一緒に生活していることで小さな社会を経験できることは、貴重なこと

だと思います。

遊びの中で子どもたちは、何を感じ、何を学んでいるのでしょうか？

楽しく遊ぼうと思っても、自分の思うようにならずイライラしてしまうことがあります。年上の子の言うことを聞かないといけないこともあります。自分には出来ないことが出来る子を見て、同じように出来るようになりたいと思う子もいます。反対に相手をうらやましく思うことや、自分が出来ない事を責めてしまうこともあるかもしれません。

遊びを通して自分の好きなことや興味があることを一緒に楽しむことも出来ます。

友達から「すごいね」と言われたり、「また一緒に遊ぼう」と言われると嬉しい気持ちになることもあります。反対に一緒に遊びたいのに断られると腹が立ち誰かに不満を言いたくなるかもしれません。

子どもたちは、遊びを通して、自分の気持ちに気付き、自分の気持ちをコントロールする力を身につけています。そして、一緒に喜んだり悲しんだりすることで共感する力を育てていると思います。

遊びの時間は、子どもたちが自発的な行動をする時間であり、自主性を育てる大事な時間であると思います。

遊びの効用は、大人になり他人と一緒に働く力として現れてくるのではないのでしょうか。

子どもたちが楽しい思い出と共に社会で生きる力を身につけて春を迎え、巣立っていくことを願っています。

—了—

## 青峰・若竹学級だよ

### 学習の診断

2月12日（金）に中学生は学習の診断に臨みました。定期テストとは違い1校時から5校時まで5教科連続のテストですので、終わった時の表情には疲労感が漂っていました。また、2月末にも学年末試験を行い、一年間の学習を締めくくりました。



### 屋外スポーツ



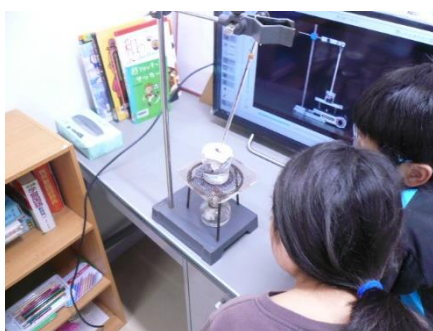
小学生は体育でサッカーをしています。試合形式の活動では「ドンマイ」「ナイス」などの声掛けが自然とできており、上級生を中心に全員で仲良く活動しました。中学生も休み時間にサッカーをしており、小学生に優しく教える姿も見られました。

### 選択活動

毎週金曜日の5校時に小学生、中学生合同の選択活動で学園周辺の散歩やサッカー、卓球、囲碁、将棋、楽器を演奏したりしています。その時間にやりたい活動を決め、小中学生問わずのびのびと活動しています。



### 小学生 理科



小学4年生の理科「水のすがたと温度」の単元では、水を熱したときの温度の変わり方と水の様子について学習しました。水の温度がどんどん上がることに驚いており、沸騰した時に出る泡について考えました。「お風呂のお湯の温度を調べたい」という声も上がりました。

## ハッピーバレンタイン



13・14日に女の子がチョコムース作りをしました。調理師さんに手順を教えてもらいながら手際良く作業を進めていきました。

「終わったら渡して」「まだフルーツ乗ってないのはある？」など声を掛け合いながら協力して作業していました。完成すると、「うまくない？」「売り物みたい」と言うほど、満足の出来となりました。

完成したチョコムースは14日のおやつに食べました。「早く食べよう」と待ちきれないこどもたち。一口食べると「おいしい！」という声があちらこちらから聞こえてきました。食べ終わった後には女の子に「おいしかった！ありがとう！」「ホワイトデー頑張るわ」と言う男の子も。おやつ作りも楽しみ、おいしいという言葉も聞けて、嬉しい一日になったようでした。

## 寒さにも負けず！若竹農園



最近雪が降るぐらい寒くなり、農園の心配をしていましたが、子どもたちから「ビニールハウスしてみない？」と声が上がりました。子ども達からのアイデアで、透明の袋を

使って作りました。しかし、学園は風も強く何度も飛ばされそうになっていたため、試行錯誤しながら作りました。

同時に前回植えたタマネギに肥料をあげました。もう少しするとジャガイモを植える予定です。子ども達と一緒に土に肥料入れをし、土づくりをしました。完成した土は、ふかふかで子ども達からも「頑張ったわ、触って！」と嬉しそうに話してきたのを見て、私たちも嬉しくなりました。



また、理事長先生の奥様から「はなっこりー」という野菜の苗をいただきました。中国や野菜のサイシンとブロッコリーを掛け合わせて山口県で誕生した花も茎も葉も全て食べられる野菜だそうです。職員も子どもも初めて見る人が多く「どんなふうになるのかな？」ととても期待をしながら植えました。頑張って育てた野菜達を1日でも早く食べられる日を楽しみにしている子ども達を見ると、私達職員も収穫できるお手伝いが出来たらと思っています。



## ネット環境

誕生日には、ご飯の献立を自分でリクエストすることが出来ます。また、プレゼント代としてお小遣いが支給されます。



担当職員  
と一緒に買物  
に出かけるの  
が恒例となっ  
ていました。



しかし、コ  
ロナになり、外出が自粛されています。そこ  
で取り入れた施策が、ネットでのお買い物で  
す。世間では、当たり前ですが、まだ学園で  
は子どものネット環境は、恥ずかしながら、  
だいぶ遅れています。子どもからも要望が  
挙がっていますが、職員会では、「刺激が多く  
子どもが混乱するのではないか？他人との交  
流が心配である。」と色々な意見があがり…  
なかなか前に進んでいませんでした。しかし、  
退所したら、うらしま太郎です。

治療施設ですので、制限も必要だと思いま  
すが、『入所したから、出来なかった。知らな  
かった。』が少しでもなくなるように、生活環  
境を整えていきたいと、職員から意見が出る  
ようになりました。ネットは、禁止するもの  
ではなく、上手く付き合っていかなといけな  
いものであり、人間関係と同じだと思います。  
当たり前の生活を提供する為、色々な対策を  
した上で子どもの状態に合わせて、ネット環  
境を整えていこうとしています。

## 2月行事

13日、14日	バレンタインお菓子づくり
19日	防災訓練
8日、10日	誕生日ケーキづくり
15日、16日、17日	買物外出

### 在籍人数

令和3年3月1日現在

区分	県内(人)	県外(人)	合計(人)
小学生	10	2	12
中学生	13	3	16
合計	23	5	28

### 編集後記

☆ 今月は寒さが戻ってきたこともあり、園内で  
☆ 出来ることをして過ごしました。ケーキ作りや  
☆ お菓子作りで、みんなが喜んでくれるようにと  
☆ 心を込めて作成する姿が見られてよかったで  
☆ す。（大室）



## カウンセラー1人増えました？



名前 **ポフ**  
年齢 **ひみつ**  
性別 **おとこ**  
身長 **160cm**  
体重 **4Kg**  
趣味 **おしゃべり**  
性格 **ほがらか**  
一言 **なかよくしてね**

## ご寄付ありがとうございます

日本舞踊先生 **チョコレート沢山**

### 第323発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

